

計画の名称	銚子市における安定した污水处理監視体制の整備													
計画の期間	令和03年度～令和06年度（4年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	銚子市													
計画の目標	銚子市内のマンホールポンプにおいて遠方監視機能が無い箇所及び遠方監視機能があるものの耐用年数を超えている箇所において増設・改築を行うことによって安定した污水处理監視体制の整備を図る。 汚水適正処理構想の見直し・全体計画変更・事業計画変更を行うことによって、銚子市の適正な下水道事業の運営を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		320	A	320	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和3年度	令和4年度	令和6年度
1	市内のマンホールポンプのうち、遠方監視機能が無い箇所及び遠方監視機能があるものの 耐用年数を超えている箇所について増設・改築を行い、耐用年数期間内の遠方監視機能を有している割合を0%（令和3年度当初）から100%（令和6年度末）に増加させる。 耐用年数期間内の遠方監視機能を有しているマンホールポンプの割合 耐用年数期間内の遠方監視機能を有しているマンホールポンプ / 市内マンホールポンプ（17基）	0%	18%	100%
2	污水適正処理構想の見直し・全体計画変更・事業計画変更により効率的かつ適正な処理区域の設定を行うことによって污水处理人口普及率を59.3%（令和3年度当初）から61.4%（令和6年度末）に増加させる。 污水处理人口普及率 污水处理施設を利用できる人口 / 全体人口	59%	60%	61%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		R03 R04 R05 R06 R07																	
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	銚子市	直接	銚子市	管渠（ 汚水）	新設	マンホールポンプ機能増 設及び改築更新工事	市内マンホールポンプ 1 7 基	銚子市						280		策定済
	A07-002	下水道	一般	銚子市	直接	銚子市	管渠（ 汚水）	-	銚子市下水道事業計画策 定業務	汚水適正処理構想の見直し・ 全体計画変更・事業計画変更	銚子市						40		-
											小計						320		
											合計						320		

## 事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
銚子市下水道事業社会資本総合整備計画評価委員会設置要綱に基づき評価を実施	令和7年12月
	公表の方法
	銚子市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銚子市内のマンホールポンプの計画的な改築を行うことにより、安定した汚水処理監視体制の整備に寄与した。</li> <li>・汚水適正処理構想の見直しにより、効率的かつ適正な汚水処理方式の選定を行うことができた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
安定した汚水処理監視体制を維持するため、引き続き計画的な整備を行うとともに、必要に応じて計画の見直しを行っていく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	マンホールポンプ１７基のうち１基について、故障に伴う修繕を行ったことにより、耐用年数は超えているものの、稼働には支障がなくなったことから、本計画では実施する必要がなくなったため。
	最 終 実績値	94%	
2			
	最 終 目標値	61%	
	最 終 実績値	61%	